



8月

パストラル尼崎

葉月

No.146, 2024 (R6) 年7月25日
〔編集・発行〕
パストラル尼崎
尼崎市潮江1丁目10-2
Tel. 06-6493-0521
Fax. 06-6493-0301
発行責任者: 竹田 憲之

◆8月の歳時記◆

『戦争と尼崎』

8月15日は終戦の日です。今回は、敗戦が色濃くなってきた80年前の尼崎市にタイムスリップしてみたいと思います。

当時、大阪に隣接する工業都市である尼崎には、すでに鉄鋼や電力など基幹的な工業施設があり軍需生産上も重要な位置を占めていました。このため米軍は、尼崎を爆撃目標都市として位置付け、爆撃を4回にわたり繰り返します。このほか神戸など周辺地域の爆撃の余波を受けB29の空襲は計8回に及びました。もっとも被害の大きかったのは昭和20年6月1日と6月15日だったそうです。



〈空襲体験記より〉

「西長洲、金楽寺、全滅。(中略) 旭染料、尼崎ホーロー、小西鉄工等要するに全部焼失、黒煙まだもうもったり。防空壕に入りたる人は殆んど死せり」また別の手記には、一ノ坪牧のとうふ屋附近で子どもを抱いたまま息絶えた母親や太平市場辺りで防空壕を出たところを直撃された遺体の惨状が記されています。6月15日には、尼崎の市街地が明確に焼夷弾空襲の目標とされ、これにより、ふたたび市域南東部の市街地を中心に被害があり、市内最大の軍需工場であった住友金属工業プロペラ製造所が壊滅するなど、軍需生産にも被害が及びます。

〈空襲体験記より〉

「6月15日、空襲警報発令で表へ出た途端、焼夷弾が目の前の地面に突き刺さり、びっくりして後ずさりして助かったが、声も出ない怖さでした。当時、私は国道二号線近くに住んでいましたが、近所の方と人家の少ないJR尼崎駅(昔は国鉄神崎駅)の方へと逃げましたが、現在の合志病院あたりであちらこちら焼夷弾が民家に落とされ、またたく間に空一面夜のごとく真っ暗になっていきました。」

戦争は、大人のみならず若い学生にも暗い影を落とします。当時、尼崎高等女学校の原田光子さんは、昭和20年、動員学徒として市内の古河電工で働く事になります。中には薬莢棒を洗う仕事に回され、希硫酸で作業をするため、薬が飛んでセーラー服がボロボロになった同級生もいました。ある日、工場で空襲があり、逃げ遅れた原田さんは、思わず目の前の工場長専用の防空壕に飛び込みます。中にいた人から「出なさい」と言われたが、怖くて足がすくんでしまった。その時、「こんな時に外に出られるものか。ここにいたらいい」という別の声でした。今でもその時のことは忘れられないと原田さんは語っています。

パス尼のミニ最新情報

*パス尼=パストラル尼崎

①「最近、男の人、多くない？」という声を聞かれた事ありませんか？ 実は近年、28%前後で推移していたパス尼の男性入居者ですが、ここ最近31%とグッと右肩上がりとなっています。実数は男性44名、女性99名とまだまだ女性優位ではありますが、何となく頼もしい空気へと変化している気がします。② 昨今は、個人情報問題もあり気軽に「どこ出身？」なんて聞けなくなりましたが、パス尼の方の以前の住所地は、兵庫県91戸、大阪府33戸、その他が3戸。市町村でいくとやはり1位は尼崎市30戸、2位は神戸市21戸、3位は大阪市14戸、4位は9戸で西宮市と川西市が同位。5位は8戸で宝塚市、6位は6戸で豊中市となっています。尼崎市外の方、多いですね。③ 現在、パス尼のご入居者の平均年齢は男性85.6歳、女性87歳。女性は全国平均と同じですが、男性は全国平均が81歳なので4.6歳も長寿という事になります。(素晴らしい!) 最高齢の方は百寿を超えておられますが、最若齢の70代の方との差は男女とも20歳を超えます。最高齢の方から見れば70代の方は、まだまだヒヨッコかもしれませんね。汗

令和6年度

パストラルシニア大学

今年度も多彩な講師をお迎えし、充実した内容でお届けしています。講師陣からその受講姿勢を絶賛されていた皆さま。今年度も是非ご参加下さい。

- * 毎回フロントにお申込み下さい(席に限りがあります)
- * 当日は、学生証も忘れずに!

第3回

「自分には伝える使命がある」

・日時: 8月23日(金) 14時~

講師: 関西学院大学2年

大森 渚生 氏



女の子として育った大森さんは、性の違和感に苦しみ葛藤してきた。中学時にカミングアウト後は、同じ思いをする当事者を少しでも減らそうと高校2年生から精力的に講演活動などを行っている。